前頁からのつづき

②長野県安曇野市

視察日　平成22年10月5日（火）～6日（水）

今回の視察は、福生市の高齢者対策の研究のための視察でした。

①三条市の地域安心ネットワークは、高齢化率が25％を超え、単身高齢者世帯が増加傾向であり、将来人口は減少見込みとなっている中で、地域で暮らす住民が、一人暮らし高齢者を見守り、不安の解消や安否確認、異変等の早期発見と必要な支援を行うことで、安心して暮らせる地域をつくることを目的とした、国の100％補助事業でした。

▲安曇野市社会福祉協議会を視察

三条市のデマンド交通は、公共交通の路線サービス低下による交通空白区解消のための国の100％事業の社会実験です。バスとジャンボタクシーを主体とした公共交通体系再構築をはかり、良質な公共交通サービスを提供しようとするために、事業者、行政、地域がそれぞれのもてるものを出したといえます。

②安曇野市のデマンド交通は、民間路線バスの廃止に伴う乗合タクシー方式によるドアツードアの交通システムでした。こちらも国の100％事業の社会実験でした。

総務文教委員会

視察目的　①学校支援地域本部事業について

②教育環境適正化（学校統合）について

視察先　①秋田県大仙市

②秋田県能代市

視察日　平成22年10月26日(火)～27日（水）

①大仙市では、平成20年4月に国の委託事業として学校支援地域本部事業をスタートさせ、市内8小学校全てに本部を設置するとともに、12中学校区のうち9中学校区で実施している。地域の人たちの学校に対する意識・関心が深まり、学校に足を運んでくれる人達が増えてきていることは、今、まさに市民との協働でまちづくりを推進している自治体の意図するところです。地域の協力を得て、子どもたちの健やかな成長を育むといった点では、ふっさっ子の広場と同様で、事業の拡充と持続可能なかたちへと進化・進展させたものと考えられます。

▲能代市を視察

②能代市では、中心部の小学校がドーナツ化現象の影響により児童の減少が進み、学校間の規模の格差が広がってきたことや複式学級解消などの教育条件の適正化の見地からの統廃合を行っています。当市でも小学校の児童数は10年前に比べて800人ほど減少しています。統廃合の問題解決は長い年月を要することを学ぶことができ、大変有意義な視察でした。

横田基地対策特別委員会

視察目的　①艦載機離発着訓練中止の対応について②防衛補助事業9条について③沖縄県普天間基地との関係について

視察先　①山口県岩国市

②岩国飛行場

視察日　平成22年10月14日(木)～15日（金）

①岩国飛行場では、艦載機が厚木基地より57機が移駐予定のため、騒音等の問題があり、滑走路を沖合1㎞に移転し、5月29日より使用開始している。艦載機移駐後に騒音調査がされるとのこと。

②9条関係については、平成19年度に約3億円、平成20年度に約3億4千万円、平成21年度に約3億5千万円が交付され、市道整備、市役所駐車場の整備事業等を実施したとのこと。

▲岩国市を視察

③普天間基地関係については、防衛大臣が岩国基地への移転は考えていないと表明しているが、仮に移転案が示されても受け入れないとのこと。また、再編完了後は、常駐機が100機から140機になる予定であり、厚木基地からFA18が、普天間からC13がそれぞれ移動し、岩国からはCH53BがグアムへEP3及びUP3Dが厚木基地へそれぞれ移動するとのこと。

・岩国飛行場では、米軍施設や海上自衛隊の資料館等を視察し、担当者からの説明を受けました。

特別委員会活動から…

CO_2削減特別委員会

◎10月12日にCO_2削減に関する提言書(案)について（日本大学糸長研究室と意見交換会を開催）

副委員長からCO_2削減に関する提言書(案)の説明を行い、糸長先生から「全国市町村の低炭素社会構築のための施策展望とライフスタイル提案」について、地球温暖化対策とエネルギー政策に関する全国市町村アンケートの結果から、首長及び担当部署の温室効果ガス削減に対する意識調査や政策の調査結果の報告がされました。また、糸長研究室が取り組まれてきた福生市モデル町会でのワークショップから、2050年の福生市ライフスタイル・住宅地街区の提案発表がありました。その後「CO_2削減に関する提言書(案)」と「研究室から低炭素都市福生のための13のライフスタイル提言施策」について意見交換及び質疑応答が行われ、活発な意見交換が行われました。

◎12月10日に委員会を開催

CO_2削減に関する提言書(案)について協議しました。福生市が取り組むもの、福生市が率先して取り組むとともに市民・事業者と協働で取り組むものに区分し、提言事項を11項目に分け、考えられる施策を具体的に表し、その内容について確認しました。

その後、提出方法及び内容について協議を行い、特別委員会の調査研究内容を「調査目的・取り組みの背景・調査の経過と内容・調査結果と市への提言」という項目でまとめ、報告書として提出すること、その報告書（案）の内容を確認しました。

また、3月定例会で報告書を提出する流れについて協議しました。

横田基地対策特別委員会

12月10日に委員会が開催され、5件の議題について協議を行いました。

◎東京都が実施した航空機騒音調査結果について

東京都が毎年実施している横田飛行場を対象とした固定調査と分布調査の結果説明があり、当市の第二中学校では63Wであった。分布調査では、第五小学校は64Wで適合している。

◎5市1町による総合要請について

本年度の要請は、国に対しては、10月29日に防衛大臣及び北関東防衛局長等に要請した。また、在日米軍に対しては、11月2日に第374航空団司令官に要請した。

主な内容は①航空機特にセスナ機の市内上空飛行による騒音問題②航空機事故の再発防止③大規模災害等での周辺自治体への迅速な連絡体制の構築④新型インフルエンザ等の感染拡大の防止等を強く要請したとのこと。

◎航空自衛隊航空総隊司令部の移駐に伴う建設工事等について

第5ゲートが12月中旬より閉鎖予定であり、工事関係車両は、羽村市側の第15ゲート先の仮設ゲートからの出入り予定である。その他の各施設も年度末に向けて工事が進められているとのこと。

◎横田基地に関する事件事故等について

横田基地内の火薬類保管庫でダイナマイトが発見されたため、爆破処理したとのこと。

◎福生南公園整備事業について

22年度から23年度の事業で総額1億3千万円の工事費になるとの説明があった。

編集後記

第4回定例会が12月17日を最終日として、3月の第1回定例会まで閉会となりました。

議会の仕事は時々刻々と変容する社会情勢に機動性を持って対応して、いかに市民の安全安心を守るかが大切であります。

▼12月17日に「防衛計画大綱」及び「中期防衛力整備計画」が閣議決定されました。

その整備計画の中に横田基地に関しての記述があり、この件で12月27日に横田基地対策特別委員会が招集され、内容確認と今後の委員会としての対応が協議されました。

▼委員会では委員の質問回数の制限（通常は3回まで）をはずし自由闊達な意見交換を担保するとともに、委員外議員の発言を認めて、広く意見の聴取を行いました。

以前からこのように衆智を集める手法を採用して少しでも、市民の皆様にわかりやすい、多様な意見をいただけるように努めてきました。

▼開かれた議会、臨機応変に対応できる議会を目指して、各々の立場や主義主張はあるものの市民の代表としての議会として、これからも議員一同、取り組んでまいります。